
あたりまえだからこそ

澄雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あたりまえだからこそ

【Nコード】

N9537S

【作者名】

澄雨

【あらすじ】

同性の彼女とのささやかな日常。
いちやいちはあまりしてません。

「あみちゃん、あみちゃん」

「なあに？」

隣にはいつも可愛い彼女がいる

あたりまえのように

そばにいてくれる彼女

決してあたりまえではない

いつか消えてしまう日常

「明日は何しよっか」

「何しよーかー」

いつも私の歩調にあわせてくれる

いつも笑っていてくれる

私は忘れそうになる

彼女がいつもそばにいてくれるありがたさを

もっと大切にできたら

優しくできたら

と、いつも思う

「あみちゃんは幸せ？」

突然の質問に驚くあみちゃんだったが、自信満々に力のこもった言葉で言った。

「幸せに決まってるよ」

あたりまえの
日常だからこそ

大切にしなければならぬものがある

いつか

なくなってしまうものなら

今、この一瞬だけでも
大切にしよう

一瞬だけでいいんだ

その一瞬の光を
輝かせつづけたい

青く澄んでいる空に向かって叫ぶ

「彼女は私の大切な人だー！」って

彼女は少しびっくりした様子だけど、
すぐにいつも通りになって微
笑んだ。

ああ 私は彼女が笑っている顔が好きになんだ

あ、もう1つだけ

少しでも長く

この幸せがつづきますように

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9537s/>

あたりまえだからこそ

2011年10月9日00時56分発行